

Express5800 シリーズ Microsoft® Windows® 2000 インストール補足説明書

Windows 2000 をインストールする前に、以下の媒体と説明書がそろっていることを確認してください。

別途ご購入が必要なもの

- ・ Microsoft® Windows® 2000 CD-ROM
- ・ ファーストステップガイド

Express5800 シリーズをお買い上げ時に添付されているもの

- ・ EXPRESSBUILDER CD-ROM
- ・ ユーザーズガイド

Express5800 『58 番街』に Web 掲載されているもの

ダウンロード後、本書を参照して作成してください。

- ・ Windows 2000 OEM-DISK for Express5800 (Express5800/110Lb をご使用の場合のみ必要です。)
- ・ Windows 2000 Install-DISK for Express5800
- ・ Express5800 シリーズ Microsoft® Windows® 2000 インストール補足説明書 (本書)

注) Microsoft および Windows 2000 は米国マイクロソフト社の登録商標です。

目次

0 はじめに	3
1 Windows 2000 をインストールするための準備と注意	5
1.1 Windows 2000 OEM-DISK for Express5800 の作成	5
1.2 ディスクの「不明」な領域 Inactive(OS/2 Boot Manager) について	5
1.3 BIOS のアップデート	5
1.4 ディスクミラーリングコントローラをご使用の場合	6
1.5 ディスクアレイコントローラをご使用の場合	6
1.6 MO 装置をご使用の場合	6
1.7 新規インストールについて	
1.7.1 作成するパーティションサイズについて	6
1.7.2 ミラー化されているボリュームへのインストールについて	7
1.8 アップグレードインストールについて	7
1.8.1 ディスク容量について	7
2 Windows 2000 の新規インストール	8
3 Windows 2000 のアップグレードインストール	10
4 ドライバのインストールと詳細設定	14
4.1 ネットワークドライバ	14
4.2 Windows 2000 Install-Disk for Express5800 の作成	14
4.3 3 モードフロッピードライバ	15
4.4 ディスクアレイドライバ	17
4.5 サウンドドライバ	18
5 システムのアップデート	20
6 障害処理のためのセットアップ	21
6.1 メモリダンプ (デバッグ情報) の設定	21
6.2 ワトソン博士の設定	22
6.3 ネットワークモニタのインストール	23
7 トラブルシューティング	24
8 システムの修復	26

0 はじめに

本書では、次に示すExpress5800シリーズサーバ/ワークステーションに使用するオペレーティングシステム「Microsoft®Windows®2000 Server 日本語版」、「Microsoft®Windows®2000 Advanced Server 日本語版」または「Microsoft®Windows®2000 Professional 日本語版」(以降、総称して「Windows 2000」と呼びます。)をインストールする方法について記述しています。

Windows 2000をインストールする前に、必ず最後までお読みください。

Express5800シリーズサーバ

Express5800/110Ec (N8500-474/484/513/514/474CP01/484CP01/484CP02/484CP03)

Express5800/110La (N8500-248/249/250/251/302/303/466/467/468/469)

Express5800/110Lb (N8500-475/477/515/516/475CP01/475CP02/475CP03/515CP01)

Express5800/120Ha (N8500-317/317A/318/320/321/368/416/417/411/412/413)

Express5800/120Ha-R (N8500-322/349/414)

Express5800/120Lc (N8500-371/372/373/374/400/401/410)

Express5800/120Lc-R (N8500-375)

Express5800/120Ld (N8500-425/426/427/428/429/430/431)

Express5800/120Ld-R (N8500-434/435)

Express5800/120Mb (N8500-310/313/393/394/310S01)

Express5800/120Mb-R (N8500-315)

Express5800/120Mc (N8500-436/437/438/443/488/509/539)

Express5800/120Mc-R (N8500-448)

Express5800/120Ra2 (N8500-376)

Express5800/120Rb-2 (N8500-478/486/528)

Express5800/140Ha (N8500-267/268/269/270/329/330/331/332/334/382/383/384/385/386/
420/421/494/495/496/497/498/499/500/268S01/268S02)

Express5800/140Ha-R (N8500-271/333/335/387/388)

Express5800/140Ma (N8500-262/263/264/265/324/325/326/327/377/378/379/380/418/419/
479/480/489/490/491/492)

Express5800/140Ma-R (N8500-266/328/381/476)

Express5800シリーズワークステーション

Express5800/51Ta (N8700-103/113)

Express5800/53Wc (N8700-68/70/71/72/74/83/84/85/105/106/104/114/115/118)

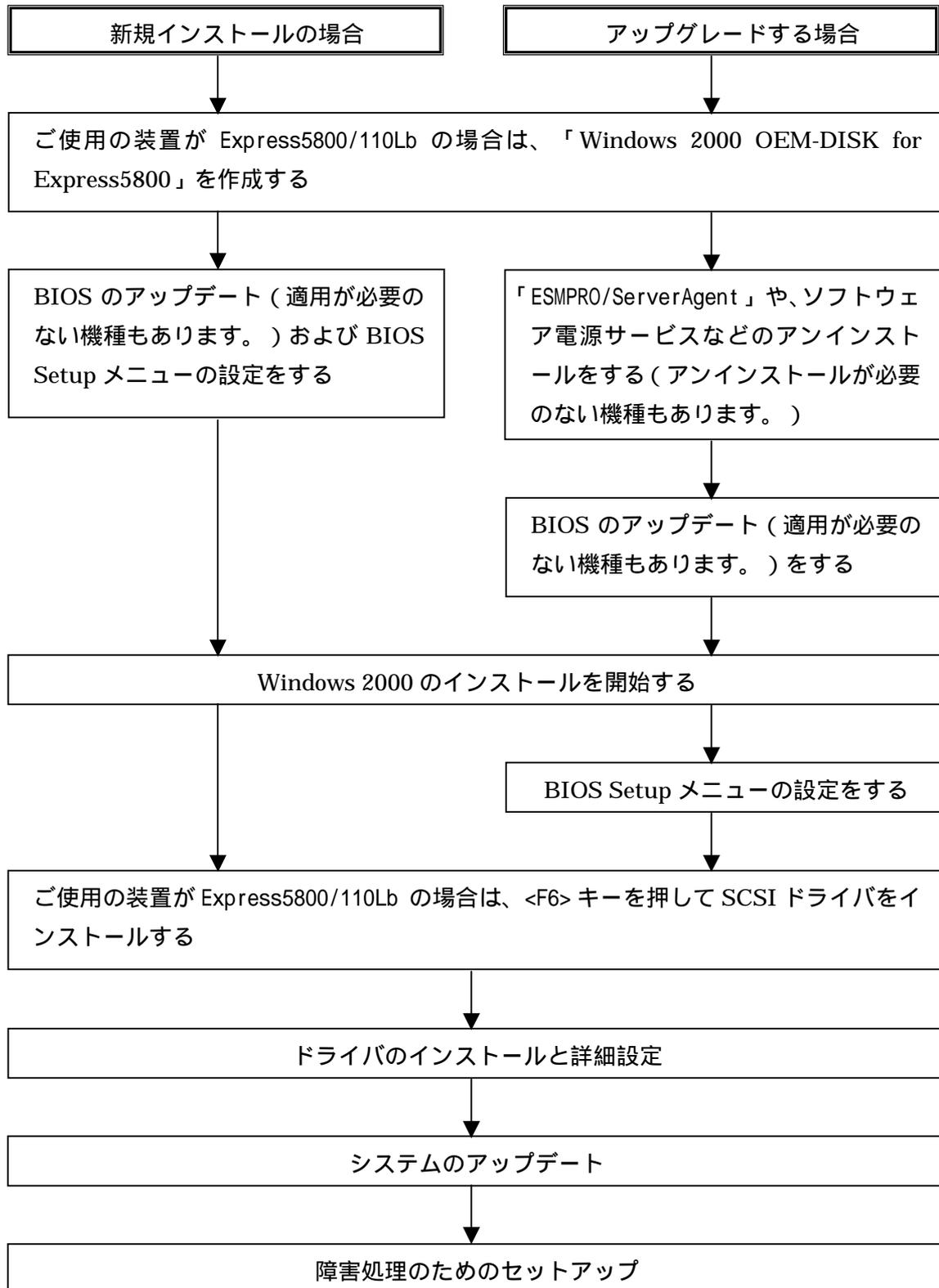
Express5800/54Wa (N8700-109/110/121)

Express5800/55Wb (N8700-62/63/64/76/87/88/89/107/108/108A)

Express5800/56Wc (N8700-111/112/116/122/123)

OSの操作や不明点については、各OSのオンラインヘルプなどを参照してください。

Windows 2000 のインストール方法の概略図



1 Windows 2000をインストールするための準備と注意

ここでは、Windows 2000 を正しくインストールするために、インストールを開始する前に知っておかなければならない注意事項について説明します。インストールを開始する前に必ずお読みください。

1.1 Windows 2000 OEM-DISK for Express5800の作成

Express5800/110Lb をご使用の場合、Windows 2000 をインストールするためには、「Windows 2000 OEM-DISK for Express5800」と呼ばれるフロッピーディスクが必要です。

以下の手順に従って作成してください。

1 1.44MB フォーマット済みの 3.5 インチの空フロッピーディスクを 1 枚用意してください。

2 Express5800 『58 番街』 <http://www.express.nec.co.jp/w2k/> の「Windows 2000 対応モジュール Download」ページのモデル名称を選択し、「Express5800 用 差分モジュール」を選択してください。

3 モジュールのダウンロード先を、ディスク上の任意のフォルダに設定してください。
(例：C:¥WINNT¥TEMP)

4 (例：C:¥WINNT¥TEMP) ¥100¥OEMDISK¥OEMDISK.exe を実行し、展開先のパスを「フロッピーディスクドライブ (例：A:¥)」に変更し、フロッピーディスクをセットしてください。

「Windows 2000 OEM-DISK for Express5800」が作成されます。

作成した「Windows 2000 OEM-DISK for Express5800」はライトプロテクトをし、ラベルを貼って大切に保管してください。

1.2 ディスクの「不明」な領域 Inactive(OS/2 Boot Manager) について

ディスク領域に、「不明」な領域 Inactive(OS/2 Boot Manager)が表示される場合があります。これは、構成情報やユーティリティを保存するための保守用パーティションですので、削除しないでください。

1.3 BIOSのアップデート

Windows 2000 をインストールするためには、EXPRESSBUILDER CD-ROM を用いて、Windows 2000 用の BIOS のアップデートが必要な場合があります。

BIOS のアップデートが必要かどうかは、「Windows 2000 対応モジュール Download」ページのモデル名称を選択し、対応モジュールの有無を確認してください。

また、アップデートの手順に関しては、各装置の BIOS ダウンロード時の紹介文、およびダウンロードデータに含まれる「Readme.txt」を参照してください。

1.4 ディスクミラーリングコントローラをご使用の場合

Express5800/110Ec、Express5800/53Wc、Express5800/54Waをご使用の場合で、ディスクミラーリングコントローラ（N8503-51）を接続されている場合、Windows 2000では当ボードが未サポートの為、Windows 2000にアップグレード、および新規インストールすることができません。（2000年3月8日現在）

1.5 ディスクアレイコントローラをご使用の場合

Express5800/51Ta、Express5800/53Wc、Express5800/54Wa、Express5800/56Wc、Express5800/55Wbをご使用の場合で、ディスクアレイコントローラ（N8503-12、N8503-44）を接続されている場合、Windows 2000で当ボードが未サポートの為、Windows 2000にアップグレード、および新規インストールすることができません。（2000年3月8日現在）

Global Array Manager は Express5800 『58 番街』に Web 掲載されているものをダウンロードしてインストールしてください。

Web からダウンロードした Global Array Manager は ESMPRO のインストーラと連携してインストールを行なうことができません。ESMPRO、Global Array Manager の順に別々にインストールをしてください。

Windows NT から Windows 2000 にアップグレードを行なう場合、システムに Global Array Manager がインストールされている場合はアップグレード前に、Global Array Manager (GAM ドライバも含まれます) をシステムから削除してください。

自動クリーンアップツールは 『58 番街』に掲載されているものをダウンロードしてインストールしてください。（EXPRESSBUILDER Rev.029 以降についてはこのダウンロードの物件と同等のものが収録されています。EXPRESSBUILDER のメニューから 『自動クリーンアップツール』を選択してインストールされてもかまいません。）

1.6 MO装置をご使用の場合

Windows2000 にアップグレード、および新規インストール時に MO 装置を接続したまま作業を行うと、インストールに失敗する事があります。MO 装置を外してインストールを最初からやり直してください。

1.7 新規インストールについて

1.7.1 作成するパーティションサイズについて

搭載メモリサイズが4GB未満の場合は、システムをインストールするパーティションの必要最小限のサイズは、次の計算式から求めることができます。

$$\begin{aligned} 1000\text{MB} + \text{ページングファイルサイズ} + \text{ダンプファイルサイズ} \\ 1000\text{MB} &= \text{インストールに必要なサイズ} \\ \text{ページングファイルサイズ(推奨)} &= \text{搭載メモリサイズ} \times 1.5 \\ \text{ダンプファイルサイズ} &= \text{搭載メモリサイズ} + 12\text{MB} \end{aligned}$$

ページングファイルサイズを「推奨」値未満に設定すると正確なデバッグ情報を採取できません。

ただし、搭載メモリサイズが4GB以上で、「Microsoft®Windows®2000 Advanced Server 日本語版」をインストールする場合は、ページングファイルサイズを2060MBに設定することを推奨します。

また、搭載メモリサイズが2GB以上の場合は、ダンプファイルサイズは、

$$\text{ダンプファイルサイズ} = 2048\text{MB} + 12\text{MB}$$

となります。

例えば、搭載メモリサイズが512MBの場合、必要最小限のパーティションサイズは、上記の計算方法から

$$1000\text{MB} + (512\text{MB} \times 1.5) + (512\text{MB} + 12\text{MB}) = 2292\text{MB}$$

となります。

システムをインストールするパーティションサイズが「インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズ」より小さい場合はパーティションサイズを大きくするか、ディスクを増設してください。

ダンプファイルサイズを確保できない場合は、次のように複数のディスクに割りあてることで解決できません。

- (1) 「インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズ」を設定する。
- (2) ユーザーズガイドの「障害処理のためのセットアップ」を参照して、デバッグ情報(ダンプファイルサイズ分)を別のディスクに書き込むように設定する。
(ダンプファイルサイズを書き込めるスペースがディスクにない場合は「インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズ」でインストール後、新しいディスクを増設してください。)

1.7.2 ミラー化されているボリュームへのインストールについて

[ディスクの管理]を使用してミラー化されているボリュームにインストールする場合は、インストールの実行前にミラー化を無効にして、ベーシックディスクに戻し、インストール完了後に再度ミラー化してください。

ミラーボリュームの作成あるいはミラーボリュームの解除、および削除は[コンピュータの管理]内の[ディスクの管理]から行えます。

1.8 アップグレードインストールについて

Windows NT 3.51 または Windows NT 4.0 のシステムを、Windows 2000 にアップグレードできます。

アップグレードする場合は、以下の点に注意してください。

1.8.1 ディスク容量について

アップグレードインストールを行う場合は、アップグレード対象の Windows NT4.0 を格納したパーティションに、約 600MB の空き容量が必要です。空き容量が不足している場合には、不要なファイルを削除するなどして、600MB 以上の空き容量を確保してください。

2 Windows 2000の新規インストール

ここでは、Windows 2000 の新規インストール方法について説明します。

- 1 システムの電源をON にする。

(注意)ここでWindows 2000用のBIOSのアップデートが必要な場合は、アップデートを行ってください。

- 2 ディスプレイ装置の画面にPOST (Power On Self-Test) の実行内容が表示されます。

(「NEC」ロゴが表示された場合は<Esc>キーを押してください。)

しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

ここで<F2>キーを押し、BIOS Setup メニューの設定をして下さい。

「Advanced」 「Installed O/S」を「PnP O/S」もしくは「Plug-n-Play」, 「Win 2000」
あるいは、

「Advanced」 「Plug & Play OS」を「Yes」

ただし、Express5800/140Ha, 140Ha-R のご使用の場合は、

「Advanced」 「Plug & Play OS」を「No」

の設定にして下さい。

設定方法は機種によって異なりますので、詳しくは各装置のBIOSダウンロードデータに含まれる
「Readme.txt」を参照してください。

- 3 BIOS Setup メニューの「Exit」 「Save Changes & Exit」あるいは「Exit Saving Changes」
[Yes] を選択し、システムを再起動させる。

- 4 Express サーバ/ワークステーションのCD-ROM ドライブにWindows 2000 CD-ROM をセットする。

<CTL> + <ALT> + を押してシステムをリセットしてください。

ハードディスク上に起動可能なOS がインストール済の場合は、画面上部に

「Press any key to boot from CD...」

が表示がされている間に <Enter> キーを押してください。

ハードディスク上に起動可能なOSが存在しない場合は不要です。

Windows 2000 のセットアップ画面が表示されます。

画面が表示されなかった場合は、<Enter> キーが正しく押されていません。

もう一度システムの電源をON し直してから始めてください。

5 (Express5800/110Lbをご使用の場合)

画面上部に、「Setup is inspecting your computer's hardware configuration...」が表示されている間に <F6> キーを押す。

<F6> キーを押しても、このときには画面上には何の変化もありません。

以下のメッセージが表示されたら <S> キーを押す。

Setup could not determine the type of one or more mass storage Devices installed in your system, or you have chosen to manually Specify an adapter. Currently, Setup will load support for the Following mass storage devices

以下のメッセージが表示されます。

Please insert the disk labeled manufacturer-supplied hardware support disk into Drive A:
*Press ENTER when ready.

本書の1.1章で作成した「Windows 2000 OEM-DISK for Express5800」を、フロッピーディスクドライブにセットし、<Enter> キーを押す。

SCSIアダプタのリストが表示されます。

[Symbios 895A/8953U PCI SCSI Driver] を選び、<Enter> キーを押す。

6 以降は、メッセージに従って作業を続けてください。

詳細については、「ファーストステップガイド」を参照してください。

インストール終了後、必ず本書の第4章の「ドライバのインストールと詳細設定」および第5章の「システムのアップデート」を実行してください。

3 Windows 2000のアップグレードインストール

Windows NT 3.51またはWindows NT 4.0 がインストールされている装置をWindows 2000 にアップグレードする手順を次に示します。

- 1 システムの電源をON にし、Windows NT 3.51またはWindows NT 4.0 を起動する。
- 2 システムに「ESMPRO/ServerAgent」や、ソフトウェア電源サービスなどのアプリケーションがインストールされている場合は、すべてアンインストールしてください。
詳しくは、それぞれのアプリケーションの説明書を参照してください。

<ソフトウェア電源サービスのアンインストール方法>

下記装置をご使用の場合に、ソフトウェア電源サービスのアンインストールを行ってください。

Express5800シリーズサーバ

Express5800/110Ec (N8500-474/484/513/514/474CP01/484CP01/484CP02/484CP03)

Express5800/110Lb (N8500-475/477/515/516/475CP01/475CP02/475CP03/515CP01)

Express5800/120Ld (N8500-425/426/427/428/429/430/431)

Express5800/120Ld-R (N8500-434/435)

Express5800/120Mc (N8500-436/437/438/443/488/509/539)

Express5800/120Mc-R (N8500-448)

Express5800/120Rb-2 (N8500-478/486/528)

Express5800シリーズワークステーション

Express5800/51Ta (N8700-103/113)

Express5800/53Wc (N8700-104/114/115/118)

Express5800/54Wa (N8700-109/110/121)

Express5800/56Wc (N8700-111/112/116/122/123)

- (1) コマンドプロンプトを開きます。
- (2) powerdel と入力してリターンキーを押してください。
- (3) 以下のメッセージが表示されます。

「ソフトウェア電源モジュールはWindows 2000 Upgradelに先だってアンインストールする必要があります。

ソフトウェア電源モジュールのアンインストールを開始しますか(Y/N)?」

アンインストールを行う場合は、Y または y と入力してリターンキーを押してください。

アンインストールが開始されます。

Y または y 以外を入力した場合、アンインストールは中断されます。

また、Express5800/110Lb、Express5800/120Ld、Express5800/120Ld-R、Express5800/120Mc、Express5800/120Mc-R、Express5800/120Rb-2をご使用の場合で、ESMPRO/ServerAgentをインストールしている場合、以下のメッセージが表示されます。

「このシステムではソフトウェア電源モジュールはESMPRO/ServerAgentとファイルを共有しています。ソフトウェア電源モジュールのアンインストールの前にまずESMPRO/ServerAgentをアンインストールしてください。その後必ずOSを再起動してから再度ソフトウェア電源モジュールのアンインストールを実行してください。」

メッセージに従い、ESMPRO/ServerAgentをアンインストールして再起動後にソフトウェア電源モジュールのアンインストールを行ってください。

3 システムを再起動する。

(注意)ここでWindows 2000用の BIOSのアップデートが必要な場合は、アップデートを行ってください。

4 Windows NT 3.51またはWindows NT 4.0を起動し、管理者権限を持ったユーザでログオンする。

5 Windows 2000 CD-ROM をCD-ROM ドライブにセットする。

以下のメッセージが表示されます。

このCD-ROM には現在使用しているWindows より新しいバージョンが含まれています。
Windows 2000 にアップグレードしますか？

6 [はい] をクリックする。

アップグレードか新規インストールかを選択するダイアログボックスが表示されます。

7 「Windows 2000 にアップグレードする(推奨)」を選択し、[次へ] をクリックする。

「Windows 2000 ライセンス契約」が表示されます。

8 内容に同意される場合は、「同意します」をチェックし[次へ] をクリックする。

ファイルのコピー後、自動的に再起動します。

Windows 2000 CD-ROM はCD-ROM ドライブに挿入したままで構いません。

9 ディスプレイ装置の画面にPOST (Power On Self-Test) の実行内容が表示されます。

(「NEC」ロゴが表示された場合は<Esc>キーを押してください。)

しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

ここで<F2>キーを押し、BIOS Setup メニューの設定をして下さい。

「Advanced」 「Installed O/S」を「PnP O/S」もしくは「Plug-n-Play」, 「Win 2000」
あるいは、
「Advanced」 「Plug & Play OS」を「Yes」
ただし、Express5800/140Ha,140Ha-R のご使用の場合は、
「Advanced」 「Plug & Play OS」を「No」
の設定にして下さい。

設定方法は機種によって異なりますので、詳しくは各装置のBIOSダウンロードデータに含まれる
「Readme.txt」を参照してください。

10 BIOS Setup メニューの「Exit」 「Save Changes & Exit」あるいは「Exit Saving Changes」
[Yes] を選択し、システムを再起動させる。

再起動後、Windows 2000 のインストールが開始されます。

11 (Express5800/110Lbをご使用の場合)

画面上部に、「Setup is inspecting your computer's hardware configuration...」が表示されて
いる間に <F6> キーを押す。

<F6> キーを押しても、このときには画面上には何の変化もあられません。

以下のメッセージが表示されたら <S> キーを押す。

Setup could not determine the type of one or more mass storage
Devices installed in your system, or you have chosen to manually
Specify an adapter. Currently, Setup will load support for the
Following mass storage devices.

以下のメッセージが表示されます。

Please insert the disk labeled manufacturer-supplied
hardware support disk into Drive A:
*Press ENTER when ready.

本書の1.1章で作成した「Windows 2000 OEM-DISK for Express5800」を、フロッピーディスクドライ
ブにセットし、<Enter> キーを押す。

SCSIアダプタのリストが表示されます。

[Symbios 895A/8953U PCI SCSI Driver] を選び、<Enter> キーを押す。

12 以降は、メッセージに従って作業を続けてください。

詳細については、「ファーストステップガイド」を参照してください。

インストール終了後、必ず本書の第4章の「ドライバのインストールと詳細設定」および第5章の「システムのアップデート」を実行してください。

4 ドライバのインストールと詳細設定

Windows 2000 のインストールが終了し、システムを再起動後、各種ドライバのインストールとセットアップを行ってください。

標準装備のネットワークドライバやディスプレイドライバは、既にインストール済みです。必要に応じてプロトコルやサービスの追加 / 削除を行ったり、転送速度やデュプレックスの設定、表示の設定などをそれぞれ行ってください。

ここで記載されていないドライバのインストールやセットアップについては、ドライバに添付の説明書を参照してください。

システムの修復を行った場合も、必ず各種ドライバをインストールし直してください。

4.1 ネットワークドライバ

インストールされたネットワークドライバは、転送速度/Duplexモードの設定が必要です。OSのインストール後に、スタートメニューの[設定]、[ネットワークとダイヤルアップ接続]から[ローカルエリア接続]のプロパティダイアログボックスを表示させます。

Express5800/120Ha、Express5800/120Ha-R、Express5800/120Ra2、Express5800/140Ha、Express5800/140Ha-R、Express5800/53Wc、Express5800/55Wbご使用の場合は、[構成]ボタンをクリックし、ネットワークドライバのプロパティダイアログボックスを表示させ、[詳細設定]タブをクリックし、[Duplex Mode]と[Media Type]をHUBの設定値と同じ値に設定してください。

上記以外の装置をご使用の場合は、[構成]ボタンをクリックし、ネットワークドライバのプロパティダイアログボックスを表示させ、[詳細設定]タブをクリックし、[Link Speed & Duplex]をHUBの設定値と同じ値に設定してください。

サービスの追加にて、[ネットワークモニタ]を追加することをお勧めします。
[ネットワークモニタ]は、[ネットワークモニタ]をインストールしたコンピュータが送受信するフレーム（またはパケット）を監視することができます。
ネットワーク障害の解析などに有効なツールです。
インストールの手順は、本書の6.3章の「ネットワークモニタのインストール」を参照してください。

4.2 Windows 2000 Install-Disk for Express5800の作成

ドライバのインストール、および次章で説明するシステムのアップデートを行う時は、「Windows 2000 Install-Disk for Express5800」と呼ばれるものがが必要です。

「Windows 2000 Install-Disk for Express5800」は、必ず以下の手順に従って、ディスク上の任意のフォルダ（例：C:\WINNT\TEMP）に展開してお使いください。

Express5800/110Lbをお使いの場合で、本書の1.1章「Windows 2000 OEM-Disk for Express5800の作成」にてダウンロードしたモジュールが残っている場合は、手順3から行ってください。

- 1 Express5800 『58 番街』 <http://www.express.nec.co.jp/w2k/>の「Windows 2000 対応モジュール Download」ページのモデル名称を選択し、「Express5800 用差分モジュール」を選択してください。
- 2 モジュールのダウンロード先を、ハードディスク上の任意のフォルダに設定してください。
(例：C:¥WINNT¥TEMP)

(注意) ダウンロード先のフォルダには、空白文字を含むディレクトリは指定できません。
- 3 (Express5800 シリーズサーバ (Express5800/110Ec、Express5800/110La、Express5800/110Lb、Express5800/120Ha、Express5800/120Ha-R、Express5800/120Ra2、Express5800/120Lc、Express5800/120Lc-R、Express5800/120Ld、Express5800/140Ma、Express5800/140Ma-R、Express5800/120Mb、Express5800/120Mb-R、Express5800/120Ld-R、Express5800/120Mc、Express5800/120Mc-R、Express5800/120Rb-2、Express5800/140Ha、Express5800/140Ha-R) をご使用の場合)
ドライバのインストールおよび次章の「システムのアップデート」を行いたいExpressシリーズサーバマシン上で、ダウンロードモジュールの
(例：C:¥WINNT¥TEMP)¥100¥INSTDISK¥INSTDISK.exeを実行し、展開先をハードディスク上の任意のフォルダに設定してください。(例：C:¥WINNT¥TEMP)

(注意) 展開先のフォルダには、空白文字を含むディレクトリは指定できません。
フロッピーディスクには展開できません。必ずハードディスク上に展開してください。

4.3 3モードフロッピードライバ

Windows 2000 では、2モードのフロッピードライバ (FAT 1.44MB と720KB フォーマットのフロッピーディスクが使用可能) が標準でインストールされます。

3モードのフロッピードライバ (FAT 1.44MB、1.2MB、720KB、640KB フォーマットのフロッピーディスクが使用可能) を使用したい場合は、Windows 2000 のインストールが終了した後に、以下の手順でドライバをアップデートしてください。

- 1 スタートメニューから [設定] を選択し、[コントロールパネル] を起動する。
- 2 [管理ツール] 内の [コンピュータの管理] を起動し [デバイスマネージャ] をクリックする。
デバイスの一覧が表示されます。
- 3 デバイスの一覧より、[フロッピーディスクコントローラ]、[標準フロッピーディスクコントローラ] の順でダブルクリックする。
[標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ] のダイアログボックスが表示されます。

- 4 [ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] をクリックする。
[デバイスドライバのアップグレードウィザード] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 [デバイスドライバのアップグレードウィザード] で [次へ] をクリックし、「ハードウェアデバイスドライバインストール」画面を表示する。
- 6 「ハードウェアデバイスドライバインストール」画面で [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する] のボタンを選択し、[次へ] をクリックする。
「デバイスドライバの選択」画面を表示します。
- 7 「デバイスドライバの選択」画面で、[ディスク使用] をクリックする。
「フロッピーディスクからインストール」のダイアログが表示されます。
- 8 (Express5800/110Ec 、 Express5800/120Ha 、 Express5800/120Ha-R 、 Express5800/120Mb 、 Express5800/120Mb-R 、 Express5800/120Mc 、 Express5800/120Mc-R 、 Express5800/110La 、 Express5800/110Lb 、 Express5800/120Lc 、 Express5800/120Lc-R 、 Express5800/120Ld 、 Express5800/120Ld-R 、 Express5800/120Ra2 、 Express5800/120Rb-2 、 Express5800/140Ha 、 Express5800/140Ha-R、Express5800/140Ma、Express5800/140Ma-Rをご使用の場合)
「 (例 : C:¥WINNT¥TEMP) ¥100¥INSTDISK¥INSTDISK.exe を展開したフォルダ配下の (例 : C:¥WINNT¥TEMP) ¥UPDATE¥FLOPPY¥NS 」と入力し [OK] をクリックする。

(Express5800/51Ta、Express5800/53Wc、Express5800/55Wb 、Express5800/56Wcをご使用の場合)
「Windows 2000 Install-Disk for Express5800」を展開したフォルダ配下の (例 : C:¥WINNT¥TEMP) ¥50¥UPDATE¥FLOPPY¥NS 」と入力し [OK] をクリックする。

(Express5800/54Waをご使用の場合)
「Windows 2000 Install-Disk for Express5800」を展開したフォルダ配下の (例 : C:¥WINNT¥TEMP) ¥50¥UPDATE¥FLOPPY¥SMSC 」と入力し [OK] をクリックする。
モデルに「NEC 3mode floppy disk controller」が表示されます。
- 9 [次へ] をクリックする。
「デバイスドライバのインストール開始」画面が表示されます。
- 10 [次へ] をクリックする。
ファイルのコピーが始まります。ファイルのコピー実行中に、[デジタル署名が見つかりませんでした] のダイアログボックスが表示されます。
- 11 [はい] をクリックする。
コピー処理が終了し「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」画面が表示されます。
- 12 [完了] をクリックする。
[NEC 3mode floppy disk controller のプロパティ] 画面が表示されます。
- 13 [閉じる] をクリックする。
デバイスの一覧が表示されます。

- 14 デバイスの一覧より [フロッピーディスクドライブ]、[フロッピーディスクドライブ] の順でダブルクリックする。
[フロッピーディスクドライブのプロパティ] のダイアログボックスが表示されます。
- 15 [ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] をクリックする。
[デバイスドライバのアップグレードウィザード] ダイアログボックスが表示されます。
- 16 以降、[標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ] と同様の操作で実行し、[NEC 3mode floppy disk drive のプロパティ] 画面が表示されるまで作業を続ける。
途中で表示されるモデルは「NEC 3mode floppy disk drive 」と表示されます。
- 17 [NEC 3mode floppy disk drive のプロパティ] 画面で [閉じる] をクリックする。
[システム設定の変更] ダイアログボックスが表示されます。
- 18 [はい] をクリックしシステムの再起動を実行する。
再起動後、3 モードフロッピードライブが有効となります。

4.4 ディスクアレイドライバ

Express5800シリーズサーバ(Express5800/110Ecを除く)にてディスクアレイコントローラ(N8503-43/44/49)を使用されている場合、以下の手順にてディスクアレイドライバをアップデートしてください。

- 1 [管理ツール] [コンピュータの管理] を起動し、[デバイスマネージャ] を選択する。
- 2 右側に表示される [SCSI と RAID コントローラ] を選択した際に表示される以下のコントローラをダブルクリックする。
[Mylex DAC960 Series Disk Array Controller]
[Mylex DAC1164P Disk Array Controller]
[Mylex DAC960PG/PJ/PR/PT/PTL1/PRL Series Disk Array Controller]
- 3 プロパティが表示されるので、ドライブタブを選択し、[ドライバの更新] をクリックする。
- 4 アップグレードウィザードが起動されるので「次へ」を選択する。
- 5 次の画面で「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選び、次の画面へ移行する。
- 6 「ディスク使用」というボタンをクリックする。
- 7 「展開したフォルダ配下 (例 : WINNT¥TEMP) ¥UPDATE¥DAC960 」と入力し、[OK] をクリックすると以下の表示を含むコントローラの一覧が表示される。

-N8503-43/49 は次を選択し、
「Mylex DAC1164P Disk Array Controller」
-N8503-44 は次を選択する。
「Mylex DAC960PG/PJ/PR/PT/PRL Series Disk Array Controller」

- 8 デバイスドライバのインストール開始画面で「次へ」を選択すると、「デジタル署名 が見つかりませんでした」というメッセージが表示され、インストールを続行しますか？と確認されますので、「はい」を選択します。
- 9 ここでコピーが開始され、終了後、「完了」を選択することにより Update は終了します。

再起動を要求される場合と、されない場合がありますが、必ず再起動を実施してください。再起動後、最新のドライバが有効になります。

4.5 サウンドドライバ

Express5800/54Wa をご使用の場合は、以下の手順でサウンドドライバをインストールしてください。

- 1 スタートメニューから [設定] を選択し、[コントロールパネル] を起動する。
- 2 [管理ツール] 内の [コンピュータの管理] を起動し [デバイスマネージャ] をクリックする。
デバイスの一覧が表示されます。
- 3 [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ] の [AC'97 Driver for Intel(r)82801AAController] をダブルクリックする。
[AC'97 Driver for Intel(r)82801AA Controller の プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 4 [ドライバ] タグを選択し、[ドライバの更新] ボタンをクリックする。
[デバイスドライバのアップグレード ウィザード] のダイアログボックスが表示されます。
- 5 [次へ] ボタンをクリックする。
- 6 [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。
- 7 [ディスク使用] をクリックする。
[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「「Windows 2000 Install-Disk for Express5800」を展開したフォルダ配下の
(例 : C:\WINNT\TEMP)\50\SOUND\YACXG\aw2120n」と入力し [OK] をクリックする。
- 9 [モデル] の一覧の [YAMAHA AC- XG Audio Device] を選択し [次へ] ボタンをクリックする。
- 10 [次へ] ボタンをクリックする。
[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示されます。
- 11 [はい] ボタンをクリックする。
[ファイルをコピーしています] メッセージが表示されます。

- 12 インストールが完了したら、[完了] ボタンをクリックする。
[YAMAHA AC- XG Audio Device のプロパティ] ダイアログボックスに戻ります。
- 13 [閉じる] ボタンをクリックする。
[システム設定の変更] ダイアログボックスが表示されます。
- 14 [はい] ボタンをクリックし、コンピュータを再起動する。

5 システムのアップデート

Windows 2000 のインストール後、必ず以下のようにシステムのアップデートを行ってください。

- 1 管理者権限のあるアカウント(administrator 等)で、システムにログオンする。
- 2 (Express5800/110Ec 、 Express5800/120Ha 、 Express5800/120Ha-R 、 Express5800/110La 、 Express5800/110Lb 、 Express5800/120Lc 、 Express5800/120Lc-R 、 Express5800/120Ld 、 Express5800/120Ld-R 、 Express5800/120Mb 、 Express5800/120Mb-R 、 Express5800/120Mc 、 Express5800/120Mc-R 、 Express5800/120Ra2 、 Express5800/120Rb-2 、 Express5800/140Ha 、 Express5800/140Ha-R、Express5800/140Ma、Express5800/140Ma-Rをご使用の場合)
本書の4.2章で (例 : C:¥WINNT¥TEMP) ¥100¥INSTDISK¥INSTDISK.exeを展開したフォルダ配下の (例 : C:¥WINNT¥TEMP) ¥UPDATE¥update.exeを実行する。

(Express5800/51Ta、Express5800/53Wc、Express5800/54Wa、Express5800/55Wb、 Express5800/56Wc
をご使用の場合)

本書の4.2章で作成した「Windows 2000 Install-Disk for Express5800」を展開したフォルダ配下の (例 : C:¥WINNT¥TEMP) ¥50¥UPDATE¥update.exeを実行する。

セットアップメッセージが表示されます。

- 3 システムのアップデートを継続する場合は [OK] ボタンをクリックする。
[Windows 2000 セットアップ] 画面が表示されます。
- 4 [コンピュータの再起動] ボタンをクリックしてシステムを再起動する。

Express5800/120Ha、Express5800/120Ha-R 、 Express5800/120Ld、Express5800/120Ld-R、
Express5800/120Mc、Express5800/120Mc-R、Express5800/120Ra2、Express5800/120Rb-2、
Express5800/55Wb、 Express5800/56Wc をご使用の場合で、1CPU 構成のマシンに CPU を増設し、2つ
以上の CPU で運用する場合は、デバイスマネージャの「コンピュータ」のドライバを「ACPI マルチ
プロセッサ PC」に変更し、その後必ずシステムのアップデートを行ってください。

また、システムの修復を行った場合も、必ずシステムをアップデートしてください。

6 障害処理のためのセットアップ

障害が起きたとき、より早く、確実に障害から復旧できるように、あらかじめ次のようなセットアップをしておいてください。

6.1 メモリダンプ (デバッグ情報) の設定

Express サーバ/ワークステーション内のメモリダンプ (デバッグ情報) を採取するための設定です。本書の第5章の「システムのアップデート」を行った後、以下の設定になっていることを確認してください。

メモリダンプの注意

メモリダンプの採取は保守サービス会社の保守員が行います。お客様はメモリダンプの設定のみを行ってください。

ここで示す設定後、障害が発生した時にメモリダンプを保存するために再起動すると、起動時に仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示される場合がありますが、そのまま起動してください。起動し直すと、メモリダンプを正しく保存できない場合があります。

- 1 スタートメニューの [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックする。
[コントロールパネル] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [システム] アイコンをダブルクリックする。
[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [詳細] タブをクリックする。
- 4 [起動/回復] ボタンをクリックする。
- 5 [デバッグ情報の書き込み] の [ダンプファイル] に、デバッグ情報を書き込む場所を入力する。
<C ドライブに「MEMORY.DMP」というファイル名で書き込む場合>
C:¥ MEMORY.DMP
デバッグ情報の書き込みは [カーネル メモリ ダンプ] になっていることを確認してください。
Expressサーバ/ワークステーションに搭載している搭載メモリサイズ+12MB 以上の空き容量のあるドライブを指定してください。
- 6 [OK] ボタンをクリックする。
[コントロールパネル] の [システム] ダイアログが表示された場合は、[OK] ボタンをクリックする。
[システムのプロパティ] ダイアログに戻ります。
- 7 [パフォーマンスオプション] ボタンをクリックする。

- 8 [仮想メモリ] ボックスの [変更] ボタンをクリックする。

- 9 [選択したドライブのページングファイルサイズ] ボックスの [初期サイズ] を [推奨] 値以上に
変更し、[設定] ボタンをクリックする。
ページングファイルサイズを「推奨」値未満に設定すると正確なデバッグ情報を採取できない場
合があります。
「推奨」値については、本書の1.6.1章「作成するパーティションサイズについて」を参照してくだ
さい。

- 10 [OK] ボタンをクリックする。
設定の変更内容によってはシステムを再起動するようメッセージが表示されます。メッセージに
従って再起動してください。

6.2 ワトソン博士の設定

Windows 2000 ワトソン博士はアプリケーションエラー用のデバッガです。アプリケーションエラーを検
出するとExpressサーバ/ワークステーションを診断し、診断情報（ログ）を記録します。
診断情報を採取できるよう次の手順に従って設定してください。

1. スタートメニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

2. [名前] ボックスに「drwtsn32.exe」と入力し、[OK] ボタンをクリックする。
[Windows 2000 ワトソン博士] ダイアログボックスが表示されます。

3. [ログファイルパス] ボックスに診断情報の保存先を指定する。
「DRWTSN32.LOG」というファイル名で保存されます。
ネットワークパスは指定できません。
ローカルコンピュータ上のパスを指定してください。

4. [クラッシュダンプ] ボックスにクラッシュダンプファイルの保存先を指定する。
「クラッシュダンプファイル」はWindows Debugger で読むことができるバイナリファイルです。

5. [オプション] ボックスにある次のチェックボックスをオンにする。
 ダンプシンボルテーブル
 すべてのスレッドコンテキストをダンプ
 既存のログファイルに追加
 クラッシュダンプファイルの作成

6. [OK] ボタンをクリックする。

6.3 ネットワークモニタのインストール

ネットワークモニタを使用することによりネットワーク障害の調査や対処に役立てることができます。ネットワークモニタを使用するためには、インストール後、システムの再起動を行う必要がありますので、障害が発生する前にインストールしておくことをお勧めします。

1. スタートメニューから[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックする。
[コントロールパネル]ダイアログボックスが表示されます。
2. [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。
[アプリケーションの追加と削除]ダイアログボックスが表示されます。
3. [Windows コンポーネントの追加と削除]をクリックする。
[Windows コンポーネント ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
4. コンポーネントの[管理とモニタツール]チェックボックスをオンにして[次へ]ボタンをクリックする。
5. ディスクの挿入を求めるメッセージが表示された場合は、Windows 2000 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして [OK] ボタンをクリックする。
6. [Windows コンポーネント ウィザード]ダイアログボックスの[完了]ボタンをクリックする。
7. [アプリケーションの追加と削除]ダイアログボックスの[閉じる]ボタンをクリックする。
8. [コントロールパネル]ダイアログボックスを閉じる。

ネットワークモニタは、スタートメニューから[プログラム] [管理ツール]をポイントし、[ネットワークモニタ]をクリックすることにより、起動することができます。

操作の説明については、オンラインヘルプを参照してください。

7 トラブルシューティング

Express サーバ/ワークステーションが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従ってExpress サーバ/ワークステーションをチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

なお、ここに上げている症状は、Windows 2000にて新たに発生するトラブルシューティングです。その他の症状につきましては、お手持ちのユーザーズガイドを参照してください。

Expressサーバ/ワークステーションについて

フロッピーディスクにアクセスできない

3モードのフロッピードライバをアップデートしましたか？

1.2MBフォーマットのフロッピーディスクアクセスするには、フロッピードライバのアップデートが完了していなければなりません。本書の4.3章の「3モードフロッピードライバ」を参照してフロッピードライバをアップデートしてください。

OSを起動できない

BIOS の設定を間違えていませんか？

BIOS のセットアップユーティリティで設定を確認してください。

<確認するメニュー>

「Advanced」 「Installed O/S」を「PnP O/S」もしくは「Plug-n-Play」, 「Win 2000」
あるいは、

「Advanced」 「Plug & Play OS」を「Yes」

ただし、Express5800/140Ha, 140Ha-R のご使用の場合は、

「Advanced」 「Plug & Play OS」を「No」

の設定にして下さい。

(注意) 設定方法は機種によって異なりますので、詳しくは各装置のBIOSダウンロードデータに含まれる「Readme.txt」を参照してください。

OS がうまくインストールできない

BIOS の設定を間違えていませんか？

BIOS のセットアップユーティリティで設定を確認してください。

<確認するメニュー>

「Advanced」 「Installed O/S」を「PnP O/S」もしくは「Plug-n-Play」, 「Win 2000」

あるいは、

「Advanced」 「Plug & Play OS」を「Yes」
ただし、Express5800/140Ha, 140Ha-R のご使用の場合は、
「Advanced」 「Plug & Play OS」を「No」
の設定にしてください。

(注意) 設定方法は機種によって異なりますので、詳しくは各装置のBIOSダウンロードデータに
含まれる「Readme.txt」を参照してください。

障害発生時、「自動的に再起動する」の設定で、設定通りに動作しない

障害発生時に「自動的に再起動する」の設定にかかわらず、自動的に再起動する場合や再起動し
ない場合があります。

再起動しない場合は、手動での再起動をお願いします。

ブルー画面で電源断できない

ブルー画面にて電源断する時には、強制電源OFF(電源スイッチを5秒以上押しっぱなしにする)を
行ってください。

一度押しでは電源断は出来ません。

8 システムの修復

OSを動作させるために必要なファイルが破損した場合は、「修復プロセス」を使ってシステムを修復してください。

システムの修復後、必ず本書の第4章の「各種ドライバのインストールと詳細設定」および第5章の「システムのアップデート」を実行してください。

OSの再インストールを行っている間にシステム修復ディスクを使ったシステムの修復をするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

システム修復ディスクではなく、ディスクの中の情報を使って修復してください。